



# 家庭通信 5月号

2021年4月30日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

初夏を思わせるような気温が続き、子どもたちは早速、水・泥遊びに夢中になっています。心地よい日差しを十分に受けながら、伸びやかに遊びや日光浴を楽しんでいます。

さて新学期から6月ころまでのこの時期に特に以下のようなことに気を付けて日々子どもたちと過ごしていますのでご紹介します。

**0歳児**：家庭的な雰囲気や大事にどれだけ「快（心地よさ）」を実感させてあげられるかが安心して落ち着く生活につながることを念頭にいれながら、年間を通して愛着関係を基盤に担任保育者との信頼関係を築けるようにしていく。そのために、優しく声をかける・目を合わせてにっこり笑う・これは嫌がっているというサインをなるべく早く知る。これらを基本として保育していきます。

**1歳児**：保護者や0歳児の時の担任との愛着の絆が深まっている1歳児は、新しい担任や見慣れない環境に恐怖を感じてもおかしくありません。そこで担任は保護者の方との信頼関係を築きながら、心の交流を子どもに感じてもらい、担任は「いつも自分を気にしてくれる人」という実感を手渡していくことを大切にしています。

**2歳児**：新しい環境での生活が「楽しいね」と感じられるように環境作りに工夫して生活に弾みをつけてあげる事を基本としています。一人でできる事が少しずつ増えてくるこの年齢の特徴を捉えて、「できたね」「上手だね」と認めたり励ましたりしながら心地よく生活ができるように声をかけていきます。

**3歳児**：入園後、新しい生活に戸惑いを感じている子どもたちの姿がまだある中で、個々の気持ちを十分に受け入れながら、クラス一緒に食事場面や手遊びをする場面では楽しい雰囲気づくりができるように心がけながら、先生や「みんなと一緒にはなんだかうれしい」と実感できる生活を作り、心の安定を第一に保育をしています。

**4歳児**：周りの様々な事象に視野が広がり、興味を持ち自分なりに取り組む姿が出てくるころです。「これでいいかな」と担任に確認したり周りをみたりしながら自分の考えを持ち始め、進んでいこうとする時期でもあります。子どもたちが歩み始めている姿を認めながら、困ったことや問題を一緒に考えていく姿勢を見せていき、安心して自分の様々な葛藤体験を乗り越えていける基盤を作る時期だと意識しています。

**5歳児**：最年長になった5歳児は当番活動などに積極的に参加する子がいる一方で慎重に失敗をしないようにじっくり進めたい子など様々な姿が見られます。この時期は「任せたい」「よろしくね」「さすがは年長さん」などの声をかけられることで、期待されていることを実感して自ら進んでいくことができるようになります。いろいろな種まきをし、この体験が一人ひとりの自信につながっていくようにしていきます。

\*子ども達の心の発達は「快」と「不快」2つを感じ取ることから始まり、「快」によって健やかな育ちが助長されます。

私たち保育者は子どもたち一人ひとりが「快」からスタートできるように、今月も支援してまいります。

## 5月のねらい

### <年長組>

- ・様々な自然に関わり、遊びに取り入れたり、世話をしたりする中で興味関心を深める。
- ・友だちと一緒に遊ぶ中で自分の思いや考えを言葉で伝え、相手の話を聞こうとする。
- ・身体を動かして遊ぶことを楽しみ、開放感を味わう。

### <年中組>

- ・園での生活の仕方がわかり、自分でできることを進んで行おうとする。
- ・様々な遊びに興味を持ち、自分のやりたいことを楽しむ。
- ・保育者や友だちと一緒に戸外で身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・戸外で身近な春の自然に触れたり関わったりして遊ぶ。

### <年少組>

- ・保育者との触れ合いを通して安心して過ごす。
- ・生活の仕方がわかり、保育者と一緒に身の回りの始末をしようとする。
- ・好きな遊びを見つけて、遊ぼうとする。
- ・身近な自然に触れながら、戸外で遊ぶ心地よさを感じる。

### <2歳児>

- ・クラスの生活に慣れ、保育者や周りの子と一緒に身体を動かすことを楽しむ。

### <1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。